

新春対談



門真から世界へ

物づくり

人づくり

海洋堂のパワーとは？

海洋堂社長
(ホビー館館長) 宮脇 修氏 & 市職労 脊戸 隆委員長

〔海洋堂〕宮脇修氏が模型店として'64年に創業。80年代、ガレージキットの製作をスタート。アニメや特撮番組のキャラクター、恐竜作品における精巧な造形力が内外の高い評価を受ける。近年は「チョコエッグ」の爆発的ヒットにより、マニアのみならず一般の支持も集め、企業として飛躍を遂げる。2002年8月現在、従業員数40人、資本金2000万円、年商13億円（2002年3月期）。

司会 新年あけましておめでとございます。このところ10年以上にわたり長期不況が日本中を襲い、経済の先行きが全く見えてこない状況が続いています。また自治体においてもうろんな意味で厳しい状況が続いています。

そこで今日は門真で長年にわたりここまで頑張ってきた、それも門真から食玩を通じて世界に発信されている海洋堂の社長（社内では社長のことを館長と呼んでいるそうです）さんに、物づくりや人づくりについて詳しいお話を聞かせていただきたいと思っています。

中小企業を十分に
生かしてこなかった

菅戸 景気の低迷が続ぎ、地域の経済が深刻になっているとき、市の職員と、住民の皆さんが一丸となって、地域の疲れ弱った経済を見据え、今何をなすべきか考えなければならぬ時やと思うんですが、館長さんはこの門真について今、どんな思いでおられますか。

宮脇 市のことは少し横においておいて、松下のことで思っていることがあります。それは、ここは松下の傘下といえますが、下請けさんたちが今まで一つの城下町風な形になってきたのに、その中小企業を十分に生かすことができなかったことが、松下の斜陽

化の一つの原因ではないかと思っているのです。
司会 具体的にはどういうことですか。

宮脇 中小企業の中にはものすごく技術力を持っているところがあります。しかし自分の独創力がなく、飼いなさられて、ただ上から仕事をもらう事ばかり考えているからその技術を生かしきれなかったと思うんです。

菅戸 先頃うちの組合で、門真市内の製造業の皆さんの調査をさせていただき、私も現地に伺い調査をさせていただきましたが、「昔なら台湾やタイなどに製品を出したら、できばえが相当悪かった。しかし今はうちの半額で作るし、できばえも我々が作るものと大差ない。」松下とつきあいがあったときのいろんなノウ

独創性、技術を社会の中で生かす



「ホビー館館長」こと海洋堂社長の宮脇修さん



アメリカのアカデミー特殊メイクアップ賞を受賞した、クリス・ウェイラスさんから贈られた怪獣を社屋にいただく海洋堂（中央の建物）

ハウを生かして、別の生きる道を考えて、コツコツやっているようなところは伸びている。そのような内容でした。

宮脇 結局それは自分の独創性というか、技術というかそういうものを今の社会の中でどうやって生かせるのかということを考えることが、全て

の基盤なんですよ。これまでのような「親方日の丸」式の体質がある限り伸びることはありません。

柔軟なものの考え方が必要では……

脊戸 今、門真では、守口市

との合併問題がわきおこっています。住民の皆さんと一緒に、どれだけ「街づくり」という視野で物を見ながら、そのうちの一つの選択肢として「合併」がある、というならわかりますが、残念なことに「十分な議論」がされていないというのが現実だと思います

す。こんな時代ですから、企業にせよ、市にせよ波があるわけで、今、底がきているというところでいえば一層立場の違いをのりこえた、激論を互いに交わす中で、市の今後の方を考えるべき時ではないかと思えます。

宮脇 私は市役所にはあまり行ったことはないんですが、たとえば海洋堂なら海洋堂という一つの企業を将来性も見据えて「協力できる所はする」というのが市役所じゃないかと思うんですが、そういうことをもつとやってほしいですね。

脊戸 今はインターネットの時代ですからほとんど内外の情勢をとりこんで、消化したうえで行政に反映させ、「門真はこのところが他の自治体と違う。だからほとんど門真においでください」というようなことが言えるのか。この立場が、分権の時代にこそ求められる柔軟な発想ではないかと思えます。

ハウを生かしてコツコツ やっている企業は伸びる

市役所もメーカー的 発想がいるのでは

司会 例えば現在の都知事の石原さんは絶えず発信されますよね。首長の発信で部下は「こんなことをしたいねん」「こんなことを考えてんねん」ということを絶えず自分の身に受けながらそれぞれのセクションで仕事をしているのではないかと思うのですが。

宮脇 石原さんの発信が時には物議を醸したりすることもありますが、それが一概に良いとか悪いとかじゃなくて、一つの問題点を出すことにより、みんなで考えるわけですから彼のように石を投げることは大事なことです。きれいごとを言っている場合じゃないと思うんです。市役所が一つの大企業みたいにメーカーさんの発想で行けば面白いなあと思うんですが。

脊戸 館長さんもおっしゃっているように市の職員の発想

発信することが大事な時代

きれいごとを言ってる場合じゃない

の転換も必要だと痛感しますし、そのためには、新たな研修も大切だと思えます。そして税金をいただいている以上、住民の方にどんな中身でお返しする、それが大事やないかと思うんです。

宮脇 「公務員でござる」という気持ちでいる限りはいいアイデアは生まれてこないと思いますよ。やはり意識革命みたいなものがある。アイデアは自由な形の中でしか生まれてこないと思います。それに加え、人を育てるには5年、10年、15年経って、一流とは



「海洋堂の発想」より



世界名作劇場

かつて、テレビアニメーションとして放送された作品の世界観をヴィネット(小さなジオラマ)にして再現。原型制作は*抒情派造形詩人*香川雅彦。

© NIPPON ANIMATION CO., LTD.
© KAIYODO



「海洋堂の発想」より

「創るものは夜空にきらめく星の数ほど無限にある」

いかにいまでも、メシが食えるところまでできました。それくらい、人はじっくりみていけないとあかんと思いますよ。

司会 さてお話もつきませぬが紙面の制約上、それぞれからこれからの夢みたいなのを語っていただきたいのですが。

74歳、夢を現実に
まだまだ意欲満々

宮脇 僕のキャッチフレーズは「創るものは夜空にきらめく星の数ほど無限にある」です。今度講談社から本を出すのですがタイトルはこれなんです。海洋堂物語というサブタイトルをつける予定なんです。

です。僕は今74歳です。今僕は、夢を描ける最もいい状況に来たなと思っています。今まで夢やと思って描き続けてきたけど下手したらほら吹き。ほんまに紙一重なんですわ。ようやくってきたと思っています。

菅戸 市の職員は1000人を超える大所帯なんですけど、市民からみて、夢と魅力のあ

る街づくりを担っていく上で、活気のある組織づくりこそ必要であることが、今日の館長さんのお話を伺って改めて感じました。

司会 今日は長時間ありがとうございました。それぞれの働く場所や、与えられている課題は異なりますが、しかし、底辺には「モノづくりや人づくり」という共通点もあります。私たちも今日のこの対談から得たものを参考に、組織作りに生かしていきたいと思っています。



「海洋堂の発想」より